

はじめに

近年、地球温暖化の進行による気候変動の影響は、自然災害の頻発化・激甚化、平均気温の上昇、農水産物の品質低下、熱中症リスクの増大、エネルギー価格の高騰を招くなど、市民生活や自然環境、経済社会に重大な影響を及ぼしています。

このような中、佐賀市は2019年3月に「第2次佐賀市地球温暖化対策実行計画」を策定し、総合的かつ計画的な地球温暖化対策に取り組んできました。さらに2020年10月に、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロにする「ゼロカーボンシティさがし」を表明し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

本市の温室効果ガス排出量は、市民や企業の皆様の日ごろから環境に配慮した行動や省エネルギー設備等の普及によって、着実に削減が進んでいますが、カーボンニュートラルの実現のためにはこれまで以上の対策が求められます。

このたび策定した「第3次佐賀市地球温暖化対策実行計画」では、第2次計画から取組を進めてきた「再生可能エネルギーの導入と利用拡大」に加え、温室効果ガス排出量削減と同時に市域の経済が持続可能なものとするための「脱炭素型ライフスタイル・脱炭素経営の推進」、公共交通機関等の利便性向上による「脱炭素型まちづくり」、3Rの推進や廃棄物エネルギー等の活用促進による「廃棄物の発生抑制・資源循環の推進」の4つの施策を柱に対策を強化してまいります。

また、施策ごとに目標を設けることによって、より具体的で効果的な対策を市民、企業、行政が連携・協働しながら、市役所が率先して取り組んでまいります。

地球温暖化による気候変動の影響が深刻化する中、次の世代により良い環境を残していくことは、今を生きている私たちに課せられた責務です。一人ひとりが「自分事」と捉え、「本気」になって取り組まなければなりません。

脱炭素社会の実現に向け、皆様のより一層のご理解ご協力をお願いいたします。

本計画の策定にあたり、多大なお力添えをいただいた佐賀市環境審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をお寄せいただいた市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和7年3月 佐賀市長 坂井 英隆



目次

第1章 「ゼロカーボンシティさがし」がめざす姿	1
1 2050年佐賀市の将来ビジョン	2
1-1 佐賀市がめざす姿の実現イメージ	2
1-2 各分野のめざすべき姿	4
2 温室効果ガスの排出削減目標	5
2-1 「ゼロカーボンシティさがし」の実現に向けた排出削減目標	5
2-2 2030年度の排出削減目標の考え方	6
2-3 2050年度の排出削減目標の考え方	7
3 脱炭素ロードマップ	8
第2章 計画策定の背景・意義	11
1 地球温暖化に関する国内外の現状及び動向	12
1-1 深刻化する地球温暖化の影響	12
1-2 カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の動向	15
2 地球温暖化に関する佐賀市の現状	21
2-1 佐賀市における地球温暖化による気候変動の影響	21
2-2 佐賀市における温室効果ガス排出量等の現況	25
2-3 佐賀市における再生可能エネルギーの現況	32
3 計画の基本的事項	34
3-1 計画策定の目的	34
3-2 計画の位置づけ	34
3-3 SDGsとの関わり	35
3-4 計画の期間及び目標年度	36
3-5 対象区域	36
3-6 対象とする温室効果ガス	36
3-7 推進体制及び進行管理	37
第3章 「ゼロカーボンシティさがし」の実現に向けた取組	39
1 佐賀市域における取組（区域施策編）	40
1-1 施策の体系	41
1-2 緩和策に関する取組	42
1-3 適応策に関する取組	55
2 佐賀市役所における取組（事務事業編）	57
2-1 市役所の事務事業における温室効果ガス排出量等の現況	57
2-2 市役所の事務事業における温室効果ガス排出削減目標	59
2-3 市役所の事務事業における温室効果ガス排出削減の取組	60
資料編	65
資料1 温室効果ガス排出に関わる佐賀市の概況	66
1-1 排出部門・分野の概況	66
1-2 再生可能エネルギーポテンシャルマップ	74
資料2 温室効果ガス排出量の現況推計	76
資料3 事務事業編に関する推進体制等の詳細	80
資料4 関連用語解説	84

※「*」表示がある用語については、関連用語解説（P84以降）をご参照ください